

**能登半島地震現地派遣報告を受けて
地域としてできること**

2025年2月2日
湖南省防炎士連絡会

地域ができること

どんな被害を受け、どのような対応となるのか
(能登半島地震の事例)

- ・ 最大震度 7
- ・ 家屋の倒壊
- ・ 道路の寸断
- ・ 火災の発生
- ・ マンホールの隆起
- ・ 避難所の開設
(ホワイトボードでの情報共有、ルール作り
物資の支給、衛生管理、体調管理他)
- ・ がれきの処理

自助：自分では何をやるべきか

公助：行政では何をやれるか

共助：地域の人みんなで何が出来るか
チームで検討

地区防災計画

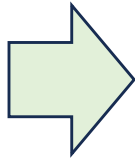
地区居住者により自発的に行われる防災活動に関する計画

各種防災訓練

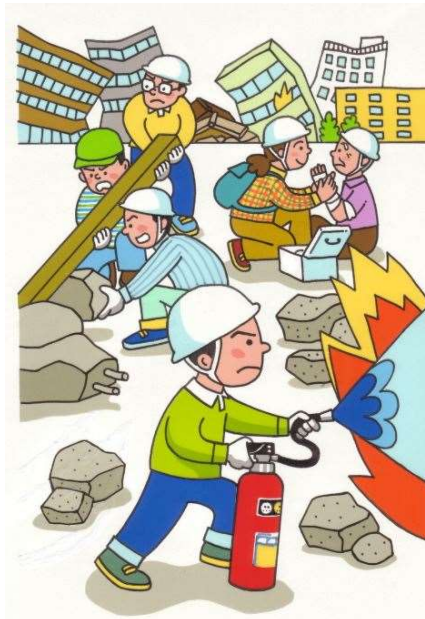
継続的図上訓練・実地訓練

地域でできる災害時の防災活動

災害が起これば



- ・ 初期消火
- ・ 住民間の助け合い（救出、救助）
- ・ 率先避難、避難誘導、避難の支援
- ・ 情報収集・共有・伝達
- ・ 避難所運営、在宅避難者への支援
- ・ 物資の仕分け、炊き出し



防災士に期待される役割(災害時)

地域全体

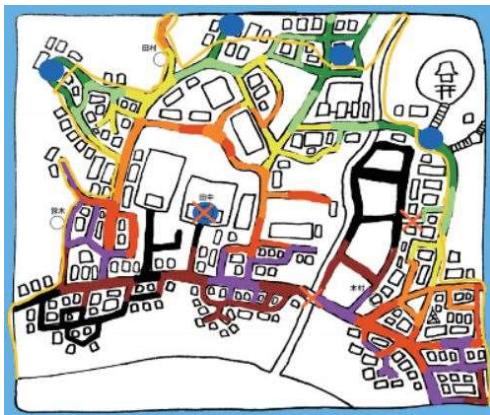
- ・ 初期消火
- ・ 住民間の助け合い（救出、救助）
- ・ 率先避難、避難誘導、避難の支援
- ・ 情報収集・共有・伝達
- ・ 避難所運営、在宅避難者への支援
- ・ 物資の仕分け、炊き出し

防災士

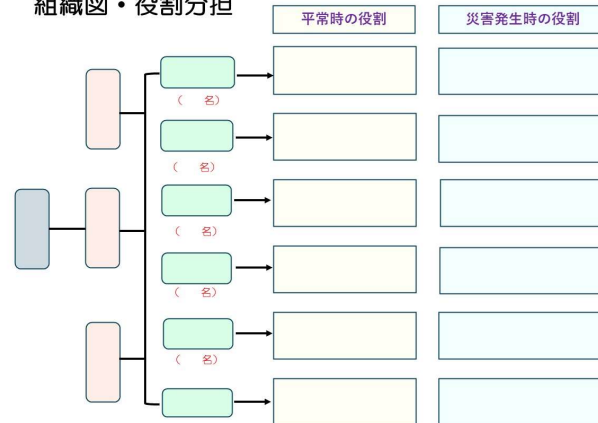
- ・ 防災知識・技術を生かした緊急事態への対応
- ・ 安否確認、救援救護活動（応急手当、AED操作）
- ・ 避難行動の呼びかけ、災害時要配慮者の避難支援
- ・ 避難所開設・運営支援、被災者支援活動

地域でできる平常時の防災活動①

- ・ 防災計画の作成・見直し
(地区防災マップの作成、避難路の確認、活動体制・連絡体制の整備、指定緊急避難場所・指定避難所の確認)
- ・ 食料、救助器具等の備蓄

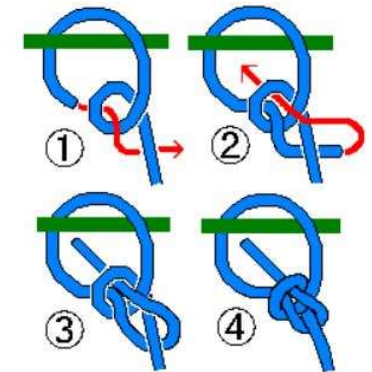


組織図・役割分担



地域でできる平常時の防災活動②

- ・ 防災啓発活動（非常時持出品、非常用トイレ等チラシ）
- ・ 防災訓練（避難訓練、情報収集・共有・伝達訓練、避難所開設・運営訓練、初期消火訓練、救急応急措置訓練、防災資機材取扱訓練）



防災士に期待される役割(平常時)

地域全体

- ・ 防災計画の作成・見直し
(地区防災マップの作成、避難路の確認、活動体制・連絡体制の整備、指定緊急避難場所・指定避難所の確認)
- ・ 食料、救助器具等の備蓄
- ・ 防災啓発活動(地域防災力向上に寄与する)
- ・ 防災訓練(避難訓練、情報収集・共有・伝達訓練、避難所開設・運営訓練、初期消火訓練、救急応急措置訓練、防災資機材取扱訓練)

防災士

- ・ 防災・減災に関する知識・技術の継続的なスキルアップ
- ・ 自治会や自主防災組織と連携し、地区防災計画作り・見直し
(地区防災マップ、災害時要配慮者名簿等作成支援)
- ・ 地域の備蓄、防災訓練、啓発活動(情報収集・普及)の企画・計画立案への参画

全国での防災士活動事例

《日本防災士機構 防災士レポートより》

災害時



熊本地震
ブルーシートの配布

平常時

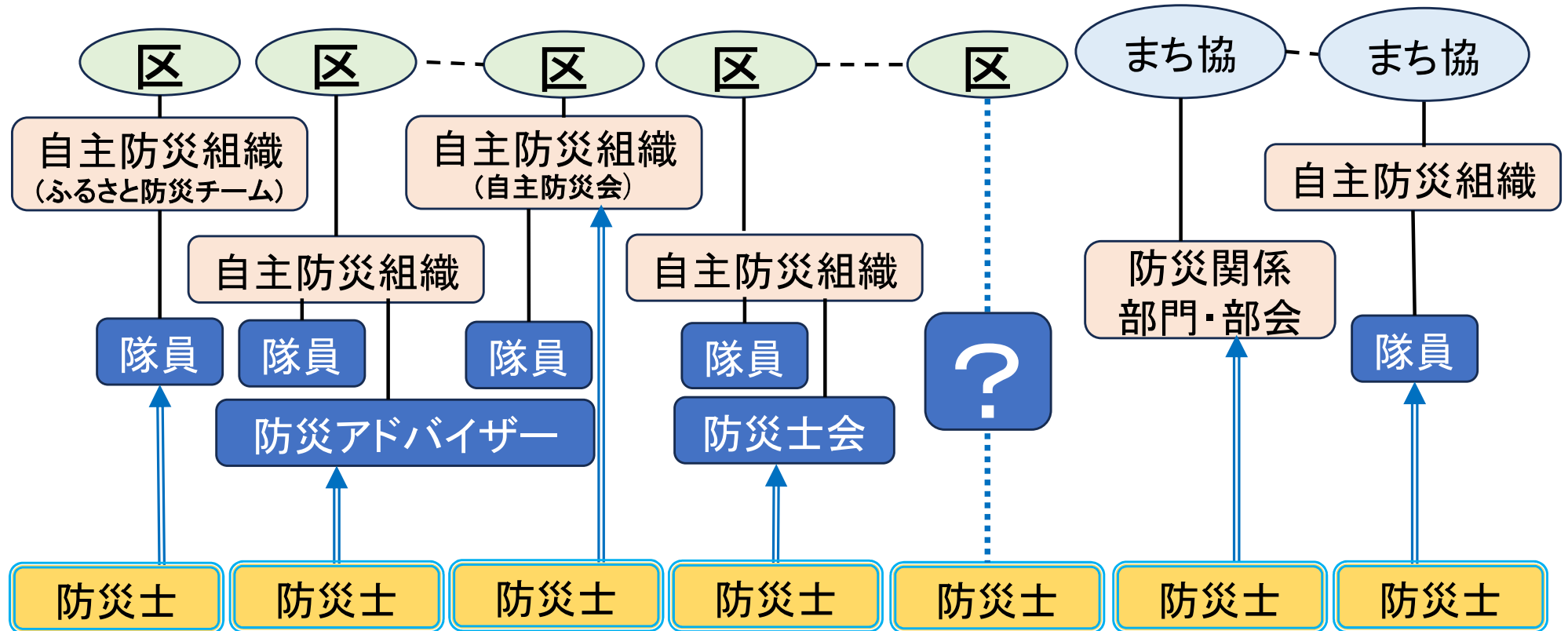


倒壊物からの
救出訓練

地域防災活動と防災士の関係

《例》

〔各区の自主防災組織調査結果より〕



各区での防災士の位置付け(役割)の明確化を！

防災士連絡会の役割

防災士が自分の地域の防災活動を十分にできるようにすること

防災士間のネットワークによるスキルアップ、情報の収集・共有・補完

各種スキルアップ講習

- ・救急救命講習(2~3年ごと受講)
- ・防災士の講習スキルアップ講習

先進地視察

- ・他自治体の防災仕組み作り、活動内容の調査・反映

防災活動に係る事例発表・
意見交換会の開催

- ・各区の活動内容を共有し、自区の活動に反映・応用

区や学区ごとのライングループの作成

- ・きめ細かい連絡網の整備

防災に関する雛形文書、
啓蒙活動資料等の作成

- ・各区共通利用資料の共有化

学区単位実施の防災イベントへの協賛

- ・学区内各区の連携強化